



戸山幼稚園
2023年
10月30日発行

朝晩の冷え込みが激しく感じるが増え、秋めいて参りましたね。日中との気温差が激しいことで、体調を崩す子どもも多く、東京では「プール熱（アデノウイルス）」の流行も例年以上であり心配が続きました。10月中は、運動会という大きな行事を経てどんどん体力が付き、クラスの仲間と過ごす楽しさを強く実感できるようになりました！またお母様方のご協力のおかげで、楽しいバザーを行うことができましたこと、心より感謝申し上げます！！笑顔で子どもたちを迎え入れてくださるお母様方の温かさか嬉しかったです♡どうぞ引き続き、毎日元気に園生活を送れるよう、体調管理には十分にお気を付け下さいませ。



今年は快晴に恵まれ、運動会日和でしたね！！そして数年ぶりにお祖父様お祖母様にもお越しいただくことができ、温かな運動会を行うことが出来ました！（ご協力いただいた運動会係さん、役員さん方、ありがとうございます！！）

行事を通して子どもたちに身に付く力はとても大きく、運動会以降、随分と子どもたちの姿に成長が見られています。みんなで一緒に運動会ができた満足感や、頑張ったことでトロフィーやメダルを貰えた達成感を得て、自信が付いているのでしょう😊とは言え、体調を崩してお休みとなってしまう子たちがおりました。当日の朝、突然の発熱で涙したご家庭もありましたよね。本番まで張り切っていた子どもたちだからこそ、全員でその勇姿を本番にお見せしたかった…という悔しい思いもそれぞれにあります。戸山幼稚園の運動会は、本番までの歩みの中にも子どもたちを成長させてくれる大きなステップがたくさんありました。その甲斐あってそれぞれに充実度を味わった運動会となりましたので、クラスごとにその様子をお伝えいたします。

ゆり これまでの運動会の経験から、憧れを糧に、運動会という行事を自分のものとして張り切っていたのが今年のゆりさんです！昨年の運動会でさえ、棒立ちだった子や渋々走っていた子…沢山いましたよね。「本当にこの子たちが組体操を出来るのだろうか？」と心配していたことも過去の記憶。こんなに立派に年長としての務めを果たそうとする姿に胸がいっぱいになりました！

仲間と一緒に力を合わせるためには、互いのパーソナリティを熟知する必要がありますが、ゆりさんたちは本当によくぶつかり合いながらここまで歩んできました！そのため、互いを受け止め合い、自分の気持ちに折り合いを付けることを学んできたからこそ乗り越えられる『組体操』だったと思います。

当日はお休みの子がいて、練習通りの技では無いチームがほとんどでしたが、その“臨機応変”な対応さえ全員で納得して出来るようになるなんて…集団の一員である自覚が芽生え、それを喜び合える年長ならではの姿。様々な葛藤を越えて、そんな頼もしい姿を見せてくれるとは、心も体も大きくなったのだな、と改めて拍手を送りたいですね！

さくら 昨年とは大きな変化を見せてくれたさくらさんでしたね！昨年は先生の真似をしながら覚えたダンスを自分たちで考えてしまえるのですから、自己主張真っ只中の4歳児の育ちを甘く見てはいけません★

ちゃんと自分たちの思いをそれぞれに主張し合い、またそれを“聞こうとする力”が伸びたことも嬉しく思います。本番前の2日間、さくらの子どもたちのダンス練習に参加した際には「もう全部覚えてるんだ！」「先生がいなくてもできるよ！」と得意顔😊好きなことが形になるってこんなに喜びに溢れるのだ、と改めて感じさせてくれた姿でした！

また、仲良しグループでの競技ではチームによって年長と共に頑張る姿、年中さんなりに小さい子を受け入れようとする姿…真ん中に挟まれたからこそ気付ける・学べる機会にも出会いました。

自分のことで精一杯だった昨年の姿と打って変わって、友だちや異年齢の仲間との関わりが、より個々の個性を膨らませてくれた運動会だったと思います！来年は戸山幼稚園をリードしてくれること、期待しています♪

ちゅうりっぷ 初めての運動会！！大張り切りで参加している子、緊張でカチコチな子、ママのもとに今すぐ駆け出したい子…などなど、本当にいろんな姿を見せてくれていましたね。どれもこれも、今のゆりさんがちゅうりっぷだった時ととても似ている姿です！（そう思うと安心しませんか😊？）この年少時代のちくはぐな姿って、今しか味わえない可愛らしさなんですよ。全身で“楽しい！”“やりたい！”“いやだ！”を表現していた運動会、体で、心で、精一杯運動会を感じようとしているゆえの姿ですから、大きく受け止めてあげましょうね。

そんなみんなの『かみなりダンス』はお部屋で楽しんでたままを表現できるよう思考を凝らしたものでした。かみなりどんに扮するために付けたお面は、自分たちでツノの大きさを決め、ふわふわの髪の毛の色も選びましたよ。お友だちの作品を見て真似する子も出てくるほど、一緒に踊ること作ること、に嬉しさを感じるようになっているのも嬉しい変化でした♡

お母様方におかれましては、後日、心温まるご感想をお寄せいただき本当にありがとうございました！特に仲良しグループでの車バトルについて、子どもたちの歩んできたプロセスを想像して下さり、ありのままの姿を受け止めていただけたことを職員一同とても嬉しく拝読させていただきました😊子どもたちによって育ちのペースは様々ですが、今の姿をしっかり捉えて願いをかけることで、大きく伸びてくれることを実感する運動会となりました。3年間の積み重ねを大切に、引き続き一歩ずつ取り組んでまいります！本当にありがとうございました💡

子どもたちの力を信じて…



2学期以降、常々お伝えしている子どもたちを真ん中にした保育計画。秋の遠足でも子どもたちの力が発揮されていたのでご紹介します♪新しい仲良しグループで、みんなでやりたいことを考えていると“散歩・外でお弁当”などの案があがりました。それらを叶えるには行く場所を絞ろうと、保育者も動物園の絵本や図鑑を用意しておき対話を楽しんでいきます。すると張り切りだしたゆりさんは、「大型バスを予約してくれる？」と直談判にやってきました！そして、自分の習い事との兼ね合いを考え曜日まで指定してくるのです😊ゆりの部屋ではそんな自分たちの計画を報告し合い、全グループで行けるように相談をしてくれました！秋の遠足については、もちろんもう全て大人たちで決定済みの行事でしたが、こちらの働きかけで子どもたちは“自分事”にして計画しようと取り組んでいくのです💡お母様方に内密にいただいたおかげでもあり、自分の力を信じて達成させようと試行錯誤できる経験はとても貴重ですね～！大人に言われたことに意欲的に乗るのではなく、自ら考え、動き出せる年長さんになるのですから！運動会や遠足を通して、思考力、忍耐力や根気強さ、さらには意欲や向上心、自信を伸ばしていることが伝わってくる最近の子どもたち。ここまで繋がり深めた友だちがいる園だからこそ、お互いに目を向け、遊びを見つけ出し、力を合わせることもできるようになっている今です。キレイに形作ること以前に、子ども自身が困ること、悩むこと、考えること、決定すること、そんな実体験が重なることが重要なのだと感じております。